

圖解

水理眞寶

市川義方著

下

水理真寶卷之下目錄

- 崩山の實況説 一丁
- 崩山の實況乃圖 二丁
- 崩山とありたる理由の説 三丁
- 崩山と成果とる圖 四丁
- 崩山を防ぐ工事の起原の説 五丁
- 淀川及崩山を治むる費用金を吝嗇したる説 七丁
- 舊時の砂防工ハ流弊あり説 八丁
- 河村瑞賢砂防工を創せし説 十丁
- 舊時の砂防工九法工の組織と圖解 十一丁

水理真寶卷下目錄

博文館藏版

- 砂防工の効能説 三十五丁
- 崩山の碎沙を樹木の肥料と為す説 三十六丁
- 崩山の壞砂ハ樹木の肥料となる説 三十七丁
- 積苗留を施さる可くする崩山の説 同
- 岨崩山の流砂を山の半腹以下まで貯蓄する圖 三十八丁
- 満山積苗工を施さるべき山の圖 同
- 石垣留を為さる崩山の圖 同

- 其工事の結果の説 十一丁より十七丁まで
- 舊時の砂防工の九工事の竣成と其結果の圖 十二丁より十八丁まで
- 阿蘭人の砂防工十箇法あり其組織と結果の説 三十一丁より三十八丁まで
- 同十工法の砂防工の竣成の圖 同
- 神助砂防工五工事の組織と其結果の説 三十九丁より四十一丁まで
- 同砂防工の竣成と結果の圖 三十九丁より四十一丁まで

- 谷口石垣留を作し溪を溜池となして土砂を止むる圖 三十八丁
- 崩山石垣留堤を施し重ねて埋りて其頂平地と為し圖 同
- 賤木を伐除き良木林と為す説 三十九丁
- 崩岨山石垣堤を積重ねたる結果説 同
- 神助石垣留隄築造せし實記 四十丁

目錄終

水理真寶附録目次

○木造の養惡水樋を石造小改良
せし説 一丁

○石造閘門組織の圖 二丁

○石造閘門竇溝構造法 三丁

○川底堀下荒蕪地開墾法 四丁

○荒蕪地を櫛齒堀して産物を起す説 同

○荒蕪地を川砂を以埋立良田とする説 五丁

○水害危嶮の國を安寧國とする圖 六丁

○大河の砂を舟は積閘門を落りて堤内の池を填て良田とす圖 同

○菰生の荒地櫛齒堀して産物を起す圖 同

水理真寶附録目次

○河の傍の池ハ人跡の窟ニ待き説 十一丁

○河の傍の池ハ人跡の窟ニ待き説 十二丁

○低國水理ハ尋常の水理ニ異なる説 十三丁

○水害の根を絶つ問答 十五丁

○蘭語の工名 十六丁

○阿蘭人砂防工計算法 同

○木造閘構造の圖 十七丁

○木造閘門計算法 同

○水防堤諸工事積算法 十八丁

○地籠仕立計算法 同

○片梓工事計算法 十九丁

○堀浚坪費用計算法 同

○九太材木尺メ計算法 同

○石材切積り圖解算 同

○鍋池を設けて瘠地を腴田にせる法 七丁

○高地の水を引て家の棟ヲ灌ぐ法 八丁

○溪水を水車まで乾燥地ニ灌ぐ法 同

○漏池を設け水派を浮上る法 九丁

○鍋池を設け雨水貯蓄の圖 同

○深山の溪ニ溜池を設け養水を高燥地ニ溉ぐ圖 同

○漏池を穿ち水派浮へる圖 同

○谿澗ニ大溜池を設け數村ニ灌ぐ圖 同

○他山の山脈の涌水を貯(乾燥村の部落瘠田ニ灌ぐ圖 十一丁

博文館藏版

○挽割木尺メ求積法 十九丁

○山城木津川筋養惡水石造改築表 二十丁

○石造扉附閘門費用表 二十一丁

○石造閘堀埋類題求積算 同

○蛇籠壺本費用算 同

○神助砂防工費用表 二十二丁

○新隄盜設計算 同

○堤の直高ありて法を知釣股表 同

○堤基里間嵩置腹附算 同

○大川拾里間九尺堀下算 二十三丁

○地神水神問答の辨 同

○拾里の大河水害斷減法 同

目録終